

CTCAE(v5.0)副作用管理Grade表

有害事象	該当有無	Grade1	該当有無	Grade2	該当有無	Grade3
悪心 (吐き気)	☐	食事量に影響のない食欲低下がある。	☐	明かな 体重減少（1kg程度以上） や脱水はない。食事量は減少する。	☐	食事量や飲水量が十分でない。入院して点滴治療等が必要である。
嘔吐	☐	症状が軽く、経過をみる事が可能である。	☐	外来での点滴治療や内服治療が必要である。	☐	入院して点滴治療等が必要である。
口腔粘膜炎 (口内炎)	☐	症状が軽く、経過をみる事が可能である。	☐	痛みや潰瘍がある。食事内容は症状にあわせる必要がある。食事は取れる。	☐	痛みがあり、食事が取れない。
便秘	☐	時々下剤等を使用する。	☐	毎日下剤等を使用する。日常生活に影響は少ない。	☐	排便する必要がある。日常生活に影響がある。
下痢	☐	普段と比べて排便回数が 1日3回 の範囲内で増える。	☐	普段と比べて排便回数が 1日4-6回 増える。日常生活に影響はない。	☐	普段と比べて排便回数が 1日に7回以上 に増える。日常生活に影響がある。
倦怠感	☐	軽いだるさがある。	☐	中程度のだるさがあるが、日常生活に影響は少ない。	☐	強いだるさがあり、日常生活に影響がある。
関節痛	☐	軽い痛みがある。	☐	中程度の痛みがあるが、日常生活に影響は少ない。	☐	強い痛みがあり、日常生活に影響がある。
筋肉痛	☐	軽い痛みがある。	☐	中程度の痛みがあるが、日常生活に影響は少ない。	☐	強い痛みがあり、日常生活に影響がある。
末梢性感覚 ニューロパチー (手足のしびれ)	☐	軽い症状がある。日常生活に影響がない。	☐	中程度の症状があるが、日常生活に影響は少ない。	☐	強い症状があり、日常生活に影響がある。
皮膚障害 (手足症候群)	☐	疼痛を伴わない軽微な皮膚の変化がある(例：紅斑、浮腫、角質増殖症)	☐	疼痛を伴う皮膚の変化がある (例：角層剥離、水疱、出血、亀裂、浮腫、角質増殖症)日常生活に影響が少な	☐	疼痛を伴う高度の皮膚の変化 (例:角層剥離、水疱、出血、浮腫、角質増殖症)日常生活に影響がある。
皮膚障害 (ざ瘡様皮疹)	☐	体表面積の 10%未満 を占める紅色丘疹・膿疱。日常生活に影響がない。	☐	体表面積の 10-30% を占める紅色丘疹・膿疱。日常生活に影響は少ない	☐	体表面積の 30%以上 を占める紅色丘疹・膿疱（経口抗菌薬を要する）

今後上記のグレード3、症状が辛いグレード2に該当する場合や38度の発熱が続く場合は診療医師へご連絡を宜しくお願い致します。

※保険調剤薬局薬剤師の方へ※

上記内容をご確認の上、処方監査・服薬指導にご活用ください。また、当院のホームページ上にがん化学療法レジメンを公開しております。
別紙にがん化学療法用トレーシングレポートも用意しております。こちらの管理表より聞き取って頂いた副作用(grade)を記入頂き当院薬剤部へFAXお願い致します。